

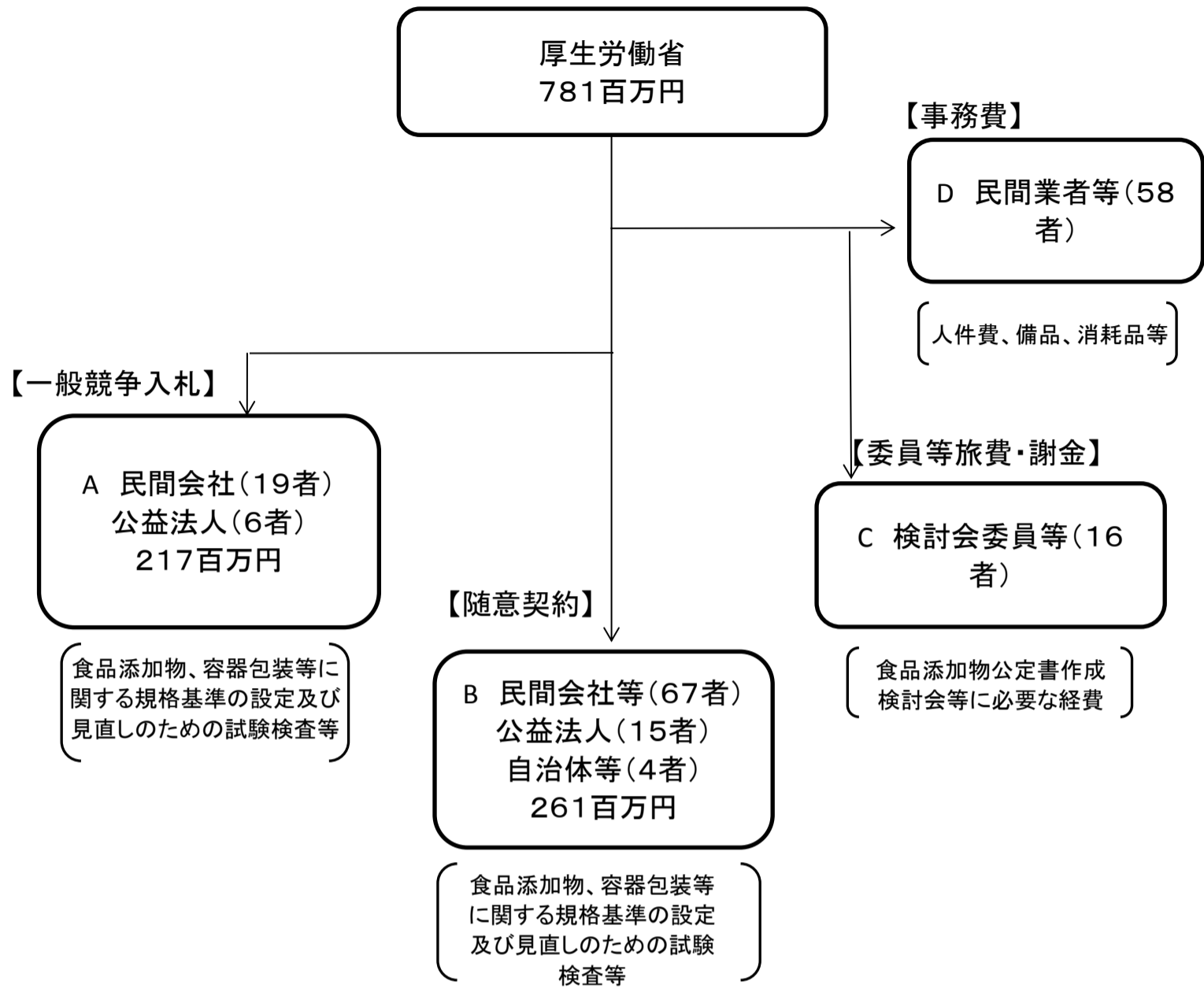
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	食品添加物、食品用器具・容器包装等の安全性確認の計画推進事業		担当部局庁	食品安全部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	基準審査課		森口 裕		
会計区分	一般会計		施策名	IV-4-1				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第10条、11条(添加物)、食品衛生法第18条、62条、食品安全基本法第24条(食品用器具・容器包装)		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	最新の科学的知見により、食品添加物等の規格を整備するとともに食品及び食品用器具・容器への化学物質の使用基準を設定・検証することにより食品の安全性を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	食品添加物等の規格基準の設定・再評価のため、バイオテクノロジーの進歩を踏まえた化学物質の分析試験を実施し、使用及び流通実態の調査結果と併せ曝露量を推定し、制度設計を検討する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	938	932	886	688	623	
	執行額	940	704	781				
	執行率(%)	100.2	75.5	88.1				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	○新規添加物の成分規格設定数	成果実績			12	14	17	—
		達成度	%		—	—	—	
	○一日摂取量調査を行った食品添加物数	成果実績			17	21	10	—
		達成度	%		—	—	—	
	○指定添加物等の変異毒性試験の実施数	成果実績			4	12	34	—
		達成度	%		36.4	80	97.1	
	○指定添加物等の反復投与毒性試験の実施数	成果実績			1	4	7	—
達成度		%		25	80	70		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	○食品添加物の新規指定数 ○既存添加物の安全性評価数	活動実績 (当初見込み)			19 7	5 6	20 5	— ()
単位当たりコスト	8,394(千円/1添加物指定・評価数)		算出根拠	(事業執行額)÷(アウトカム・アウトプット数) 780,727千円÷(17+10+34+7+20+5)=8,394千円				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2	0.2	食品用途のナノテクノロジーのリスク管理調査のための要求増				
	職員旅費	0.8	1.8					
	委員等旅費	0.4	0.4					
	庁費	1.3	1.4					
	食品等試験検査費	685	619					
	計	688	623					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	—
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業に基づく調査結果は、規制対象物質に対し規格基準を設定するにあたり重要なデータとなるため、コーデックス委員会等の国際会議及び薬事・食品衛生審議会の審議において公表される事が前提となっており、適正な内容であるよう努めているところである。</p> <p>なお、添加物毒性試験等に必要で遺伝子組換え動物の飼育業務等、極めて特殊な技能を要する随意契約案件については、本省公共調達委員会の審査を経て契約を行っているところであり、また事業終了後、その使途についても適正な把握に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>食品添加物、食品用器具・容器包装等の安全性確認の計画推進事業について、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>食品添加物、食品用器具・容器包装等の安全性確認分析試験法等について、知見の集積状況を踏まえ事業を見直したことにより削減を図った。 (反映額: ▲65百万円)</p>		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成21年度会計検査院決算検査報告 「不当事項」(113) 添加物の安全性に関する試験及び報告書の作成の業務に係る請負契約において、契約が履行期間内に履行されていないのに履行されたとする事実と異なる内容の関係書類を作成するなどの不適正な会計経理を行い、代金を支払っていたもの。 (略) このような事態が生じていたのは、研究所において、会計法令等を遵守することなどの基本的な会計経理を適正に行う意識が欠如していたこと、厚生労働本省において、研究所に対して、予算の執行に当たり会計法令等の遵守することなどの指導が十分でなかったことなどによると認められる。</p> <p>→国立医薬品食品衛生研究所における検査を徹底するとともに、厚生労働本省においても平成19年度以降については、行政効率化推進計画等の取り組みの中で、平成18年6月に「随意契約の見直し計画」が策定されたことに伴い、契約のあり方を見直したことから、本省において一般競争契約を実施し分析法検討に関する契約を導入しており、適切な処理が行われるよう既に改善が図られているもの。</p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. (株)バイオテック・ラボ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	マイクロアレイ技術を用いたトキシコゲノミクスに関する調査試験用消耗品(DNAマイクロアレイ)10点	14	—	—	—
消耗品費	マイクロアレイ技術を用いたトキシコゲノミクスに関する調査試験用消耗品(DNAマイクロアレイ)6点	9			
消耗品費	マイクロアレイ技術を用いたトキシコゲノミクスに関する調査試験用消耗品(DNAマイクロアレイ)3点	4			
備品費	既存添加物の安全性に関する試験(反復投与毒性試験)に要する超低温フリーザー一式	3			
雑役務費	DNAマイクロアレイ解析システム保守一式	2			
消耗品費	試験管内cDNA合成キット(50回分)4点	1			
計		33	計		0
B. (財)食品農医薬品安全性評価センター			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	ドクダミ抽出物に関する慢性毒性。発がん性併合試験	28	—	—	—
雑役務費	指定添加物(デヒドロ酢酸ナトリウム)の安全性に関する試験	23			
雑役務費	指定添加物(トランスジェニックマウス突然変異試験)一式	21			
雑役務費	食品添加物の安全性に関する試験(パラオキシ安息香酸イソブチル毒性試験)一式	6			
雑役務費	食品添加物の安全性に関する試験(パラオキシ安息香酸イソプロピル毒性試験)一式	6			
雑役務費	食品添加物の安全性に関する試験(変異原性試験)	2			
計		86	計		0
C. 100万円以上支出者該当なし			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
—	—	—	—	—	—
計		0	計		0
D. 資金前渡官吏			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	食品添加物、容器包装等に関する規格基準の設定及び見直しのための試験検査に係る研究非常勤職員人件費	81	—	—	—
計		81	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 一般競争入札

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野村総合研究所	食品用器具及び容器包装の規制の国際化にむけた見直しの検討業務	19	1	70.52%
2	(財)日本食品化学研究振興財団	国際的に汎用されている添加物の指定に向けた調査研究等役務	19	1	91.49%
3	(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス	食品用器具及び容器包装材料用途別使用実態調査	15	2	97.42%
4	(株)バイオテック・ラボ	マイクロアレイ技術を用いたトキシコゲノミクスに関する調査に要するDNAマイクロアレイ10点	14	4	85.77%
5	片山化学工業(株)	既存添加物の成分規格の設定に要するプラズマ発光分光分析装置一式	13	2	92.66%
6	西川計測(株)	国際的に汎用されている添加物の指定に向けた調査研究等に必要なガスクロマトグラフ質量分析計一式	9	3	99.98%
7	(株)バイオテック・ラボ	マイクロアレイ技術を用いたトキシコゲノミクスに関する調査に要するDNAマイクロアレイ6点	9	4	85.77%
8	(財)食品薬品安全センター-秦野研究所	指定添加物の安全性に関する試験(トランスジェニックマウス突然変異試験)一式	8	2	87.71%
9	(株)ボゾリサーチセンター	指定添加物の安全性に関する試験(アジピン酸外7物質染色体異常試験)一式	8	6	52.94%
10	(株)SRD生物センター	指定添加物の安全性に関する試験(アントラニル酸メチル染色体異常試験)一式	7	7	52.35%

B. 随意契約

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)食品農医薬品安全性評価センター	ドクダミ抽出物に関する慢性毒性・発がん性併合試験 一式	28	随意契約	
2	(株)DIMS医科学研究所	マッシュクに関する慢性毒性・発がん性併合試験 一式	25	随意契約	
3	(財)食品農医薬品安全性評価センター	デヒドロ酢酸ナトリウムに関する慢性毒性・発がん性併合試験 一式	23	随意契約	
4	(財)食品農医薬品安全性評価センター	指定添加物(トランスジェニックマウス突然変異試験) 一式	21	随意契約	
5	(株)ボゾリサーチセンター	指定添加物の安全性に関する試験(モルホリン脂肪酸塩に関する毒性試験) 一式	9	随意契約	
6	(株)DIMS医科学研究所	指定添加物の安全性に関する試験(グリチルリチン酸二ナトリウム毒性試験) 一式	7	随意契約	
7	(株)DIMS医科学研究所	指定添加物の安全性に関する試験(ジベンゾイルチアミン塩酸塩毒性試験) 一式	8	随意契約	
8	(財)食品農医薬品安全性評価センター	指定添加物の安全性に関する試験(パラオキシ安息香酸イソブチル毒性試験) 一式	6	随意契約	
9	(財)食品農医薬品安全性評価センター	指定添加物の安全性に関する試験(パラオキシ安息香酸イソプロピル毒性試験) 一式	6	随意契約	
10	(株)DIMS医科学研究所	指定添加物の安全性に関する試験(食用赤色106号に関する毒性試験) 一式	5	随意契約	

C. 委員等旅費・謝金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	第9版食品添加物公定書作成検討会出席旅費	0.02		
2	委員A	第9版食品添加物公定書作成検討会出席旅費	0.02		
3	委員A	第9版食品添加物公定書作成検討会出席旅費	0.02		
4	委員A	第9版食品添加物公定書作成検討会出席旅費	0.02		
5	(株)JTBC首都圏	検討会委員 乳容器工場及乳製品製造工場視察旅費	0.02		
6	委員B	第9版食品添加物公定書作成検討会出席謝金	0.01		
7	委員C	第9版食品添加物公定書作成検討会出席謝金	0.01		
8	委員D	第9版食品添加物公定書作成検討会出席謝金	0.01		
9	委員E	第9版食品添加物公定書作成検討会出席謝金	0.01		
10	委員F	第9版食品添加物公定書作成検討会出席謝金	0.01		

D. 事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	前渡資金官吏	研究非常勤職員人件費	81	随意契約	
2	田口工業(株)	残留農薬等に関するポジティブリスト制度導入に係る分析法開発に要する防水役務	2	随意契約	
3	田口工業(株)	DNAマイクロアレイ試験室密閉補修役務	2	随意契約	
4	日本空調サービス(株)	DNAマイクロアレイ試験室空調整備役務	2	随意契約	
5	田口工業(株)	DNAマイクロアレイ試験室補修役務	2	随意契約	
6	(株)池田理化	指定添加物の安全性に関する試験(変異原性試験)に要するカラー複合機一式	1	随意契約	
7	日本無機商事(株)	DNAマイクロアレイ試験室系統プレフィルタ取付枠設置役務	1	随意契約	
8	信東建設(株)	DNAマイクロアレイ試験室補修役務	1	随意契約	
9	日本空調サービス(株)	事務室改修基本計画業務	1	随意契約	
10	日本空調サービス(株)	DNAマイクロアレイ試験室改修基本計画業務	1	随意契約	